

コールセンター Q&A

Q145

尿沈渣検査（フローサイトメトリー法）とはどういう検査法ですか？
また、尿沈渣での円柱成分の報告方法を教えてください。

A145

尿沈渣検査（尿中有形成分定量測定法）は、フローサイトメトリー法で検査を行っております。フローサイトメトリー法とは、尿を遠沈することなく、機械で定量測定するものです。原理としては、尿中有形成分に半導体レーザーを照射し、そこから得られる散乱光や蛍光の情報により、成分の大きさや内部構造、細胞の種類を解析し、赤血球・白血球・扁平上皮・硝子円柱・細菌などの有形成分を判定し、毎視野での平均数値を出しています（臨床検査センターだより令和2年3月号参照）。ただし、再検基準に該当した成分については、検体を遠沈し、尿沈渣を作成して鏡検再検をしております。依頼の際には、尿沈渣（フローサイト）にチェックしていただき、⑳尿ポリスピッツにて尿を10mL 提出してください。

<報告方法>

- ・硝子円柱がフローサイトメトリー法でみられた場合（再検査なしの場合）

報告例) 0.4 / LPF（弱拡大、100倍相当）

- ・種々円柱がみられた場合（再検査ありの場合）

沈渣鏡検表現に基づき、出現頻度の低い順から（一）、全視野に1、6視野に1、4視野に1、2視野に1、1-4/毎、5-9/毎、10-14/毎…とご報告しています。



尿沈渣<尿中有形成分>		
赤血球	4.0以下/HPF(×400倍)	0.2
白血球	4.0以下/HPF(×400倍)	0.5
扁平上皮		0.4
硝子円柱		0.4
細菌	18.0以下/HPF(×400倍)	1.5

尿沈渣<尿中有形成分>		
赤血球	4.0以下/HPF(×400倍)	*15-19/毎 ↑
白血球	4.0以下/HPF(×400倍)	0.5
扁平上皮		0.5
硝子円柱		*4 視野に1
細菌	18.0以下/HPF(×400倍)	0.4
上皮円柱		*6 視野に1
顆粒円柱		*全視野に1
赤血球円柱		*6 視野に1

担当 血液・尿一般係

<広報委員> 石田 啓 / 石田 有里 / 新見 唯可

*ウェブサイトでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>